教科	科目	単位数	学年	集団
芸術	美術Ⅰ	2	1	総合探究科（選択）

使用教科書	副教材等
高校美術Ⅰ（光村）	プリント

科目の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成する事を目指す。

評価の観点とその趣旨

①知識・技能	対象や事象を捉える造形的な始点について理解しており、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表す事を身につけている。
②思考・判断・	造形的な良さや美しさ、表現の　意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発送し構想を練ったり、価値意識を持って美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む都ともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造して行く態度を養おうとしている。

評価方法

知識・技能　　：提出作品、ワークシート、小テスト
思考・判断・表現　　：制作の様子、アイディアスケッチの内容、学習ファイルの点検
主体的に学習に取り組む態度：制作の様子、発言内容

学習計画

月	単元名	使用教科書項目	単元や題材などの内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Ａ表現	素描・鉛筆デッサン ・手、静物 ・形、質感、陰影	・対象のイメージや空間を把握できる。	○	○	○
			・造形表限の基礎となる観察力と描写力を高めようとしている。		○	○
5			・遠近法を理解している。	○	○	○
			・造形の要素、面、量感、空間表限について理解している。	○		○
6	Ｂ鑑賞	作品鑑賞	・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めようとしている。		○	
7						

9	A表現	デザイン ・配置と視点 ・色彩 ・混色 ・配色効果	・色の三属性について理解している。	○		○
			・発想や構想をしたことをもとに効果的に表現しようとしている。	○	○	○
10			・観察した対象から発想したことを創造的に表す技能を持っている。	○		○
			・色彩や形体の特性を生かして表現することができる。		○	○
11			・材料、用具の特徴を理解しており、それを生かす技能を持っている。	○		
12						
1	A表現	彫刻 ・対称のとらえ方 ・骨格　肉付け	・粘土を使った作品作りに関して、対象の持つ生命感を捉えることができる。	○	○	○
			・構想したことを基に粘土を材料として対象を創造的に表す事ができる。	○	○	○
2	B鑑賞	作品鑑賞	・彫刻（塑像）の鑑賞を通じて感じたことや考えたことを表現する事ができる。		○	
3						